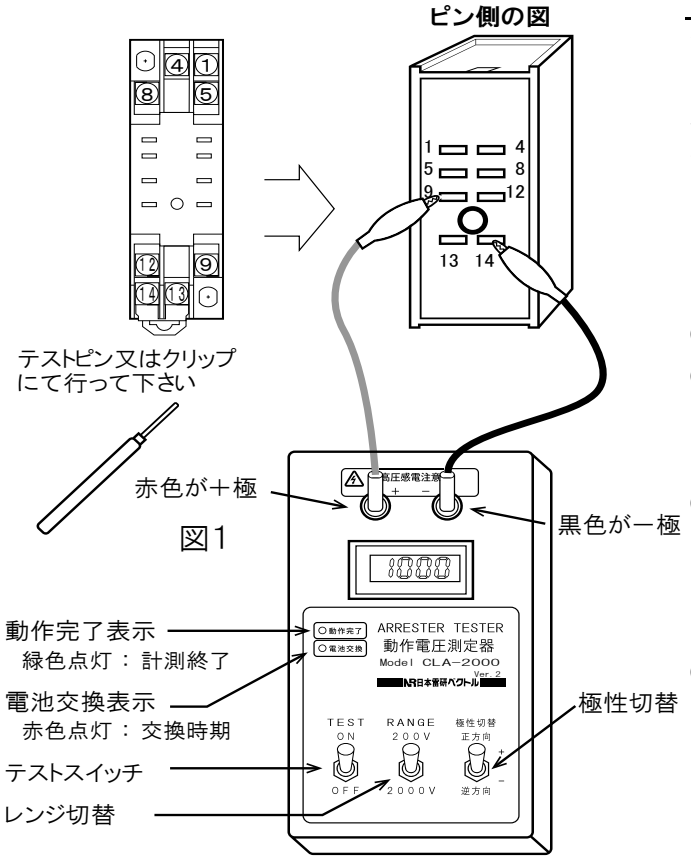
CLA-2000による避雷器点検方法

適応機種
RF－448

●端子配列と結線図



チェッカーの動作について

チェッカーCLA-2000のは1mA以下の電流制限付きです。
1mAを超えた時点で、数値をホールドして素子への電圧印加を停止します。
TESTスイッチをOFFにするまで表示します。

●点検前のご注意

① 安全のため配線されたソケットより外しておこなって下さい。
② 感電にご注意下さい。
　TESTスイッチをONにしているとき、出力の電極を素手で触れないで下さい。
③ メーターのサンプリング周期により読み取り誤差があります。
　2～3回程度おこなって下さい。

●点検後･･･新品交換待ちになった場合

① 劣化と判断した場合であっても電源･信号に支障がなければ、新品交換まで付け戻して下さい。
　交換までの雷サージ対策となります。

●素子の良否判定

① 測定する素子の動作電圧に合わせてRENGE(レンジ)を切り替えて下さい。
② 極性切替スイッチは通常正方向を定位置にして下さい。(極性切替時使用します)
③ チェッカーCLA-2000のテストピン(またはクリップ)を下表端子番号に合わせて接続して下さい。
④ TESTスイッチをONに投入して下さい。
⑤ 指示値が下表の範囲内は正常、範囲外は劣化(不良)と判定します。

＜4線式制御回線用避雷器＞

各素子	測定端子間	端子番号 ＋極／－極	印加電圧 (レンジ)	確認内容 下記の範囲であること	故障モード (通常)
対地間G1	L1/E	⑧/⑭	2000V	DC210 - 455V	OPEN
対地間G2	E/L1	⑭/⑧	2000V	DC210 - 455V	OPEN
線間ZD	L1/L2	⑧/⑤ ※	200V	DC91 - 111V	SHORT
線間ZD	L1/L3	⑧/④ ※	200V	DC91 - 111V	SHORT
線間ZD	L1/L4	⑧/① ※	200V	DC91 - 111V	SHORT

※ 極性切替スイッチで逆方向も確認して下さい。